

大阪城

2023
4/6 (木)
14344号

全港通
西成分會

2647
6647-
4947

4月になり暖かくなってきたが、地下鉄は止め交通の
運賃が10〜20円上がってきている。食料・物価はより
続けている。パンを買おうとコンビニに入ったら向く
なっていて手に取ったう小高く軽くなったので腹が立っ
てかわんかったんや...と話していた。ある人はハム
を買って料理したかうすくなっっていて、今までは2袋で
すんでいたのが3袋つかわんとオカズにならんかったと
言っていた。社会の経済・金融の土口は大きくゆれ動
いて変貌をとげている。

そんな流れの中の統一地方選挙だが、あと3日程で
新しい政治の流れや、風景も目撃してくるのだから、
お今後の日本を考えよするためにも注目されるところだろう。
投開票日の4/9、新しい日銀・植田体制がどうなる。

10年連続したインフレ・スタグネーション体制に終りをつけ、金利
上昇の時代に(おぐではなな)いずれか突入して行くだろう。

アメリカで、この銀行がつぶれ、お国ハスイスで、N.O.2の
銀行がつぶれ、N.O.1の銀行が吸収した。銀行はスイスと
いう時代はとっくの昔に終わったようだ。昔は今宮戎
の横の木津市場にあった木津信用金庫がつぶれた時
人がいっぱい引き出しに集まり、大騒動だったか、今は、
ネットやスマホで引き出すのでわからないうちに銀行の
金がなくなってしまう社会といわれている。経済金融
で、カネの世界で変化がおこっていくように見えます。

春闘後半戦、中小零細企業の労働者の賃上げは？

経営者側が賃上げに踏み切っている背景には、政府の働きかけが要因のひとつとしてあります。

岸田総理「日本商工会議所会頭から大企業における賃上げの動きが中小企業、小規模事業者に広がっていくために、取引適正化などが不可欠であるとの」発言。政府としても政策を総動員して環境整備に取り組みます」15日に、政府は「政労使会議」を開きました。政府、労働界、経済界の代表らと賃上げについて協議する会議で、8年ぶりに開かれました。参加者の中には、連合の芳野友子会長もいます。TBS NEWS DIG

「官製春闘」とも言われますが、なにせ役所がいわないとなにも決まらんとする特質の国柄なので、労働者にとつて有益なことならほとんどんやっってもらいたいものです。

わが地区の高齢者特別清掃事業に係わる賃金単価も新年度に20数年ぶりに改定されました。

次の課題は「現金求人単価の引き上げ」ですが、各方面それぞれが努力がもとめられています。

今年は政治も経済も大きな変化がありそう